

Ver 1.3

オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく  
温室効果ガス吸収プロジェクト計画書別紙  
モニタリング計画書

プロジェクト名	岩手県県有林における森林吸収量取引プロジェクト
プロジェクト代表事業者名	岩手県知事 達増 拓也

提出日 平成22年10月5日

受理日 平成22年10月8日

最終版提出日 平成22年10月8日

I. 純吸収量で考慮する温室効果ガス排出・吸収活動(方法論項目3)

プロジェクト吸収量・排出量				
吸収源(炭素プール)	吸収活動の説明	プロジェクト吸収量	温室効果ガス	備考
地上部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地上部バイオマスが蓄積される。	模範林大志田事業区盛岡市浅岸大志田川に立地する35年生のスギ林分外25箇所及び、模範林生出事業区陸前高田市矢作町的場に立地する31年生のスギ林分外33箇所 (資料6参照)	CO2	
地下部バイオマス	間伐の実施により、追加的に地下部バイオマスが蓄積される。		CO2	
排出源	排出活動の説明	プロジェクト排出量	温室効果ガス	備考
主伐による地上部バイオマス分の排出量				
主伐による地下部バイオマス分の排出量				
植林対象地の植生除去分の排出量				

※ 欄が足りない場合には追加して記入すること。

## II. 算定式 (方法論項目5)

4. 純吸収量の算定 ※下記5-1から6-1に基づき、プロジェクトによる純吸収量を算定し、値を記入する。  
本欄に記載しきれない場合は、別途、吸収量算定を行った資料を添付すること。

$$\Delta C_{\text{total}} = \Delta C_{\text{FM}}$$

= 473 (2008)、787 (2009)、1,119 (2010)、1,085 (2011)、1,072 (2012) (t-CO<sub>2</sub>/年)

$\Delta C_{\text{total}}$  人為的純吸収量  
 $\Delta C_{\text{FM}}$  森林経営活動(間伐)に基づく、年間のCO<sub>2</sub>吸収量(t-CO<sub>2</sub>/年)

5-1. 吸収量(地上部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{\text{AG}} = \sum \Delta C_{\text{AG},i} = \sum (\text{Area}_{\text{Forest},i} \times \Delta \text{Trunk}_{\text{sc},i} \times \text{BEF}_i \times \text{WD}_i \times \text{CF} \times 44/12)$$

$\Delta C_{\text{AG},i}$  = 378 (2008)、627 (2009)、892 (2010)、865 (2011)、855 (2012) (t-CO<sub>2</sub>/年)

$\Delta C_{\text{AG},i}$  森林経営活動(間伐)に基づく、階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO<sub>2</sub>吸収量(t-CO<sub>2</sub>/年)

$\text{Area}_{\text{Forest},i}$  階層*i*において森林経営活動(間伐)が実施された森林面積(ha)

$\Delta \text{Trunk}_{\text{sc},i}$  収穫予想表等に基づく、階層*i*における単位面積あたりの幹材積の年間成長量(m<sup>3</sup>/ha/年)

$\text{BEF}_i$  階層*i*における幹材積の成長量に枝葉の成長量を加算補正するための係数

$\text{WD}_i$  階層*i*における成長量(材積)をバイオマス(乾燥重量)に換算するための係数(t/m<sup>3</sup>)

$\text{CF}$  樹木の乾燥重量から炭素量に換算するための炭素比率(0.5)

*i* 1,2,3...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植採樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

※計算式の詳細は別添プロジェクト吸収量算定台帳のとおり

5-2. 吸収量(地下部バイオマス)の算定 ※方法論を参照し、以下に吸収量の算定式及び値を記入する。

$$\Delta C_{\text{BG}} = \sum \Delta C_{\text{BG},i} = \sum (\Delta C_{\text{AG},i} \times R_{\text{ratio},i})$$

$\Delta C_{\text{BG},i}$  = 95 (2008)、160 (2009)、227 (2010)、220 (2011)、217 (2012) (t-CO<sub>2</sub>/年)

$\Delta C_{\text{BG},i}$  森林経営活動(間伐)に基づく、階層*i*における地下部バイオマス中の年間CO<sub>2</sub>吸収量(t-CO<sub>2</sub>/年)

$R_{\text{ratio},i}$  階層*i*における地上部バイオマス中の年間CO<sub>2</sub>吸収量に、地下部(根)を加算補正するための係数

*i* 1,2,3...プロジェクト実施対象地における階層(地形、植採樹種等の森林成長量に関する層:地位級)

対象林分毎の吸収総定量を算出

※計算式の詳細は別添プロジェクト吸収量算定台帳のとおり

6. ベースライン吸収量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

なし

7. プロジェクト排出量の算定 ※方法論を参照し、以下にプロジェクト排出量の算定式及び値を記入する。

なし

※欄が足りない場合は適宜欄を追加して記入すること。

Ⅲ. モニタリング詳細－活動量－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位: ha]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名 は識別可能な 方法で記述)	方法論に 記載されて いるパラメ ータを記入	モニタリン グ対象とな る活動量の 説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	事業者自ら実測を行う場合、具 体的な測定方法を記入 (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照 し、測定機器 のキャリブ レーション・ 点検等を行 ったか、ま た、行うかを	キャリブレ ーション・点 検等実施・予 定日	想定吸収量 の算定に使 用した値を記 入	①施業年(林齢) ②その他特筆すべき事項 があれば記入
例	〇〇小班XX	Area <sub>Forest</sub>	間伐面積	森林GIS情報に基づく 方法	間伐が実施された小班ごとに、 電子コンパスを用いて…(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	500m <sup>2</sup>	①2008年度(42) ②2005年及び2010年に2 度間伐を実施
大志田1	3-2-3	AreaForest	間伐面積	実測(森林測量)に基づ く方法	間伐を実施した際にコンパス測 量したデータを使用する。(造林 補助申請時の測量成果を使 用)	間伐発注時	○	間伐実施時	4.82	2010年度(35) スキ⑤
大志田2	3-3-12	"	"	"	"	"	"	"	0.84	2009年度(23) スキ⑤
大志田3	3-3-13	"	"	"	"	"	"	"	0.66	2009年度(22) スキ⑤
大志田4	3-4-5	"	"	"	"	"	"	"	1.27	2010年度(21) スキ⑤
大志田5	3-4-7	"	"	"	"	"	"	"	1.94	2010年度(23) スキ⑤
大志田6	3-4-9	"	"	"	"	"	"	"	0.32	2010年度(24) スキ⑤
大志田7	3-4-13	"	"	"	"	"	"	"	0.70	2010年度(21) スキ⑤
大志田8	3-4-14	"	"	"	"	"	"	"	2.27	2010年度(22) スキ⑤

大志田9	3-4-17	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.77	2010年度(18) スキ⑥
大志田10	3-4-21	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.60	2010年度(17) スキ⑥
大志田11	3-7-17	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4.7	2010年度(17) スキ⑥
大志田12	3-8-10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4.88	2010年度(31) スキ⑥
大志田13	3-9-4	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	7.82	2008年度(33) スキ⑦
大志田14	4-2-9	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.83	2008年度(31) スキ③
大志田15	4-2-10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	2.12	2008年度(34) スキ③
大志田16	4-3-11	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.38	2008年度(32) スキ③
大志田17	4-3-15	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.45	2008年度(33) スキ③
大志田18	4-3-36	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3.31	2009年度(19) スキ④
大志田19	5-5-7	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.99	2008年度(32) スキ②
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.52	2009年度(30) スキ①
大志田21	5-11-10	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3.36	2009年度(32) カラマツ①
大志田22	5-13-1	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	7.18	2009年度(32) カラマツ①
大志田23	5-13-7	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.63	2009年度(28) カラマツ①
大志田24	5-13-8	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	1.60	2009年度(29) カラマツ①
大志田25	5-12-2	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	0.87	2008年度(31) スキ①

生出1	228-8-2	"	"	"	"	"	"	"	0.99	2009年度(30) スキ⑤
生出2	228-9-3	"	"	"	"	"	"	"	0.48	2009年度(35) スキ⑤
生出3	228-9-6	"	"	"	"	"	"	"	0.83	2009年度(32) スキ⑤
生出4	228-9-10	"	"	"	"	"	"	"	0.61	2009年度(32) スキ⑤
生出5	228-10-1	"	"	"	"	"	"	"	0.35	2009年度(19) スキ⑥
生出6	228-10-15	"	"	"	"	"	"	"	0.50	2009年度(35) スキ⑤
生出7	228-11-21	"	"	"	"	"	"	"	1.21	2009年度(19) スキ⑥
生出8	228-11-23	"	"	"	"	"	"	"	0.72	2009年度(18) ヒノキ②
生出9	229-1-20	"	"	"	"	"	"	"	1.09	2009年度(32) ヒノキ②
生出10	229-1-22	"	"	"	"	"	"	"	0.96	2009年度(32) ヒノキ②
生出11	230-2-13	"	"	"	"	"	"	"	1.28	2009年度(30) スキ④
生出12	230-4-19	"	"	"	"	"	"	"	0.53	2009年度(30) スキ④
生出13	231-4-13	"	"	"	"	"	"	"	1.87	2009年度(31) スキ③
生出14	233-1-14	"	"	"	"	"	"	"	1.81	2009年度(35) スキ⑧
生出15	233-4-24	"	"	"	"	"	"	"	5.41	2010年度(43) アカマツ②
生出16	234-1-12	"	"	"	"	"	"	"	0.62	2008年度(25) ヒノキ①
生出17	234-1-14	"	"	"	"	"	"	"	1.51	2008年度(23) ヒノキ①
生出18	234-1-16	"	"	"	"	"	"	"	0.68	2008年度(11) スキ①

生出19	234-2-5	"	"	"	"	"	"	"	0.56	2008年度(21) スキ②
生出20	234-2-8	"	"	"	"	"	"	"	1.05	2008年度(16) スキ①
生出21	234-2-13	"	"	"	"	"	"	"	1.65	2008年度(15) スキ①
生出22	234-2-14	"	"	"	"	"	"	"	0.51	2008年度(43) スキ②
生出23	234-2-16	"	"	"	"	"	"	"	0.15	2008年度(21) スキ②
生出24	234-2-19	"	"	"	"	"	"	"	0.15	2008年度(21) スキ②
生出25	234-2-20	"	"	"	"	"	"	"	3.27	2008年度(33) スキ②
生出26	234-2-21	"	"	"	"	"	"	"	1.90	2008年度(43) ヒノキ①
生出27	234-2-24	"	"	"	"	"	"	"	0.75	2008年度(43) ヒノキ①
生出28	234-3-3	"	"	"	"	"	"	"	3.26	2008年度(16) スキ①
生出29	234-3-22	"	"	"	"	"	"	"	1.85	2008年度(38) ヒノキ①
生出30	234-3-25	"	"	"	"	"	"	"	2.34	2008年度(43) ヒノキ①
生出31	234-3-26	"	"	"	"	"	"	"	2.55	2008年度(41) アカマツ①
生出32	234-3-28	"	"	"	"	"	"	"	0.38	2008年度(41) アカマツ①
生出33	234-3-29	"	"	"	"	"	"	"	6.11	2008年度(42) アカマツ①
生出34	234-3-31	"	"	"	"	"	"	"	1.55	2008年度(35) スキ②

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタリ ング対象 となるパ ラメータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付す ること 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入す ること (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施で きるよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリ ング方 法ガイ ドライン を参照 し、測定 機器の キャリ ブレー ション・ 点検を 行った か、ま た、行 うかを チェッ クする	キャリブ レーシ ョン・ 点検 実施・ 予定日	想定吸 収量の 算定に 使用し た値を 記入	①特筆すべき事項が あれば記入 ②Trunk: 植栽本数等 の区分によって収穫予 想表が複数存在する 場合、使用する収穫予 想表の選定根拠(Ⅶ 備考にて説明) ②(暫定)地位: その特 定根拠(例: 森林簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく方法	小班ごと・植栽樹種ごとに伐倒 試料木を10本選定し・・・(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
大志田1	3-2-3	スギ*	BEF	拡大係数	「京都議定書3条3及び 4の下でのLU LUCF活 動の補足情報に関する 報告書	樹種・林齢毎に拡大係数を決 定する。	モニタリ ング 時1回	-	-	1.23	
大志田2	3-3-12	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田3	3-3-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田4	3-4-5	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田5	3-4-7	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田6	3-4-9	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田7	3-4-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田8	3-4-14	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田9	3-4-17	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	



大志田10	3-4-21	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	
大志田11	3-7-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	
大志田12	3-8-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田13	3-9-4	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田14	4-2-9	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田15	4-2-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田16	4-3-11	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田17	4-3-15	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田18	4-3-36	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57 1.23(2011~)	
大志田19	5-5-7	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
大志田21	5-11-10	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.15	
大志田22	5-13-1	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.15	
大志田23	5-13-7	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.15	
大志田24	5-13-8	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.15	
大志田25	5-12-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出1	228-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出2	228-9-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出3	228-9-6	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	

生出4	228-9-10	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出5	228-10-1	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57 1.23(2011~)	
生出6	228-10-15	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出7	228-11-21	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57 1.23(2011~)	
生出8	228-11-23	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.55 1.24(2012~)	
生出9	229-1-20	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出10	229-1-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出11	230-2-13	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出12	230-4-19	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出13	231-4-13	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出14	233-1-14	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出15	233-4-24	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出16	234-1-12	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出17	234-1-14	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出18	234-1-16	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	
生出19	234-2-5	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出20	234-2-8	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	
生出21	234-2-13	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	
生出22	234-2-14	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出23	234-2-16	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	

生出24	234-2-19	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出25	234-2-20	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出26	234-2-21	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出27	234-2-24	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出28	234-3-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.57	
生出29	234-3-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出30	234-3-25	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.24	
生出31	234-3-26	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出32	234-3-28	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出33	234-3-29	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	
生出34	234-3-31	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	1.23	

### Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する小班 名を記入(同一小 班名は識別可能 な方法で記述)	各種係数に 対応する樹種名 を記入	方法論に 記載されて いるパラメータ を記入	モニタ リング対象とな るパラメータの 説明	測定方法・データ 把握方法を記入 (モニタリング方 法ガイドラインに あるパターンから 選択)	パラメータを引用 する場合は、詳細 資料をⅦ備考に添 付すること 事業者自ら実測 を行う場合は、具 体的な測定方法を 記入すること (記入された測定 方法により、第三 者が同じ調査を実 施できるよう詳細 情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイドライ ンを参照し、測定 機器のキャリブ レーション・点検 を実施・予定日	キャリブ レーション・点 検実施・予定日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①特筆すべき事 項があれば記入 ②Trunk: 植栽本 数等の区分によ って収穫予想表 が複数存在する 場合、使用する 収穫予想表の選 定根拠(Ⅶ備考 にて説明) ②(暫定)地位: その特定根拠(例: 森林簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく方法	小班ごと・植栽 樹種ごとに伐倒 試料木を10本選 定し・・・(追加 資料はⅦ備考に 添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
大志田1	3-2-3	スギ*	WD	容積密度	「京都議定書3条3 及び4の下でのLU LUCF活動の補足 情報に関する報告 書	樹種毎に容積密 度を決定する。	モニタリング 時1回	-	-	0.314	
大志田2	3-3-12	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田3	3-3-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田4	3-4-5	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田5	3-4-7	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田6	3-4-9	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田7	3-4-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田8	3-4-14	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	

大志田9	3-4-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田10	3-4-21	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田11	3-7-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田12	3-8-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田13	3-9-4	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田14	4-2-9	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田15	4-2-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田16	4-3-11	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田17	4-3-15	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田18	4-3-36	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田19	5-5-7	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
大志田21	5-11-10	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.404	
大志田22	5-13-1	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.404	
大志田23	5-13-7	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.404	
大志田24	5-13-8	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.404	
大志田25	5-12-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出1	228-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出2	228-9-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	

生出3	228-9-6	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出4	228-9-10	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出5	228-10-1	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出6	228-10-15	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出7	228-11-21	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出8	228-11-23	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出9	229-1-20	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出10	229-1-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出11	230-2-13	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出12	230-4-19	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出13	231-4-13	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出14	233-1-14	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出15	233-4-24	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.451	
生出16	234-1-12	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出17	234-1-14	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出18	234-1-16	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出19	234-2-5	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出20	234-2-8	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出21	234-2-13	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出22	234-2-14	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	

生出23	234-2-16	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出24	234-2-19	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出25	234-2-20	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出26	234-2-21	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出27	234-2-24	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出28	234-3-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	
生出29	234-3-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出30	234-3-25	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.407	
生出31	234-3-26	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.451	
生出32	234-3-28	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.451	
生出33	234-3-29	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.451	
生出34	234-3-31	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.314	

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名は 識別可能な方 法で記述)	各種係数に 対応する樹種 名を記入	方法論に記 載されている パラメータを 記入	モニタリング 対象となる パラメータの 説明	測定方法・データ 把握方法を記入 (モニタリング 方法ガイドライン にあるパターン から選択)	パラメータを引用 する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付す ること 事業者自ら実 測を行う場合 は、具体的な 測定方法を記 入すること (記入された測 定方法により、 第三者が同じ 調査を実施で きるよう詳細 情報を記入の こと)	測定頻度を 記入	モニタリング 方法ガイドラ インを参照し 、測定機器の キャリブレー ション・点検 を実施・予定 日	キャリブレー ション・点検 実施・予定日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①特筆すべき 事項があれば 記入 ②Trunk: 植 栽本数等の区 分によって収 穫予想表が複 数存在する場 合、使用する 収穫予想表の 選定根拠(Ⅶ 備考にて説明) ②(暫定)地位 : その特定根 拠(例: 森林簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく 方法	小班ごと・植 栽樹種ごとに 伐倒試料木を 10本選定し… (追加資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
大志田1	3-2-3	スギ*	R ratio	地上部に 対する地下部 の比率	「京都議定書 3条3及び4 の下でのLU LUCF活動の 補足情報に 関する報告書	樹種毎に地上 部に対する地下 部の比率を 決定する。	モニタリング 時1回	-	-	0.25	
大志田2	3-3-12	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田3	3-3-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田4	3-4-5	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田5	3-4-7	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田6	3-4-9	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田7	3-4-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田8	3-4-14	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	



大志田9	3-4-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田10	3-4-21	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田11	3-7-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田12	3-8-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田13	3-9-4	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田14	4-2-9	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田15	4-2-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田16	4-3-11	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田17	4-3-15	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田18	4-3-36	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田19	5-5-7	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
大志田21	5-11-10	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.29	
大志田22	5-13-1	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.29	
大志田23	5-13-7	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.29	
大志田24	5-13-8	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.29	
大志田25	5-12-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出1	228-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出2	228-9-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	

生出3	228-9-6	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出4	228-9-10	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出5	228-10-1	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出6	228-10-15	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出7	228-11-21	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出8	228-11-23	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出9	229-1-20	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出10	229-1-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出11	230-2-13	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出12	230-4-19	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出13	231-4-13	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出14	233-1-14	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出15	233-4-24	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出16	234-1-12	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出17	234-1-14	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出18	234-1-16	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出19	234-2-5	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出20	234-2-8	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出21	234-2-13	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出22	234-2-14	スキ <sup>°</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	

生出23	234-2-16	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出24	234-2-19	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出25	234-2-20	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出26	234-2-21	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出27	234-2-24	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出28	234-3-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	
生出29	234-3-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出30	234-3-25	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出31	234-3-26	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出32	234-3-28	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出33	234-3-29	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.26	
生出34	234-3-31	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	0.25	

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を記入 (同一小班名は 識別可能な方 法で記述)	各種係数に 対応する樹種 名を記入	方法論に記 載されている パラメータを 記入	モニタリン グ対象となる パラメータの 説明	測定方法・デ ータ把握方法 を記入(モニタ リング方法ガイ ドラインにある パターンから選 択)	パラメータを 引用する場合は 、詳細資料をⅦ 備考に添付す ること 事業者自ら実 測を行う場合は 、具体的な測定 方法を記入す ること (記入された測 定方法により、 第三者が同じ調 査を実施でき るよう詳細情報 を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリン グ方法ガイド ラインを参照 し、測定機器 のキャリブレ ーション・点 検を行ったか 、また、行う かをチェック する	キャリブレ ーション・点 検実施・予定 日	想定吸収量 の算定に使用 した値を記入	①特筆すべき 事項があれば 記入 ②Trunk:植栽 本数等の区分 によって収穫 予想表が複数 存在する場合 、使用する収 穫予想表の選 定根拠(Ⅶ備 考にて説明) ②(暫定)地位 :その特定根 拠(例:森林 簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく 方法	小班ごと・植 栽樹種ごとに 伐倒試料木を 10本選定し… (追加資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
大志田1	3-2-3	スギ*	Trunk SC	幹材積の年 間成長量	文献・資料に 基づく方法	岩手県作成の 『岩手県民有 林摘要現実林 分収穫表等作 業務報告書』 (平成8年2月) の「林分材積 表」を使用す る(資料)	モニタリン グ時1回	-	-	13.22 13.00(2011~)	
大志田2	3-3-12	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54 13.62(2012~)	
大志田3	3-3-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54	
大志田4	3-4-5	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54	
大志田5	3-4-7	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54	
大志田6	3-4-9	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54 13.62(2012~)	
大志田7	3-4-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54	
大志田8	3-4-14	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.54	

大志田9	3-4-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.98	
大志田10	3-4-21	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.98	
大志田11	3-7-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.98	
大志田12	3-8-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22	
大志田13	3-9-4	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22 13.00(2011~)	
大志田14	4-2-9	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22	
大志田15	4-2-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22 13.00(2010~)	
大志田16	4-3-11	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22 13.00(2012~)	
大志田17	4-3-15	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22 13.00(2011~)	
大志田18	4-3-36	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	14.98 14.54(2011~)	
大志田19	5-5-7	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	10.14 9.04(2012~)	
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	10.60 10.14(2010~)	
大志田21	5-11-10	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	4.44	
大志田22	5-13-1	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	4.44	
大志田23	5-13-7	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	5.78 4.44(2012~)	
大志田24	5-13-8	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	5.78 4.44(2011~)	
大志田25	5-12-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	10.14	
生出1	228-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	10.60 10.14(2010~)	
生出2	228-9-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	10.14 9.04(2010~)	

生出3	228-9-6	スキ	"	"	"	"	"	-	-	13.22	
生出4	228-9-10	スキ	"	"	"	"	"	-	-	13.22	
生出5	228-10-1	スキ	"	"	"	"	"	-	-	11.32 11.40(2011~)	
生出6	228-10-15	スキ	"	"	"	"	"	-	-	13.22 13.00(2010~)	
生出7	228-11-21	スキ	"	"	"	"	"	-	-	14.98 14.54(2011~)	
生出8	228-11-23	ヒノキ	"	"	"	"	"	-	-	7.52 8.54(2012~)	
生出9	229-1-20	ヒノキ	"	"	"	"	"	-	-	8.08	
生出10	229-1-22	ヒノキ	"	"	"	"	"	-	-	9.76	
生出11	230-2-13	スキ	"	"	"	"	"	-	-	13.62 13.22(2010~)	
生出12	230-4-19	スキ	"	"	"	"	"	-	-	10.60 10.14(2010~)	
生出13	231-4-13	スキ	"	"	"	"	"	-	-	13.22	
生出14	233-1-14	スキ	"	"	"	"	"	-	-	10.14 9.04(2010~)	
生出15	233-4-24	アカマツ	"	"	"	"	"	-	-	5.16	
生出16	234-1-12	ヒノキ	"	"	"	"	"	-	-	10.64 10.58(2009~)	
生出17	234-1-14	ヒノキ	"	"	"	"	"	-	-	10.64 10.58(2011~)	
生出18	234-1-16	スキ	"	"	"	"	"	-	-	9.36	
生出19	234-2-5	スキ	"	"	"	"	"	-	-	14.54	
生出20	234-2-8	スキ	"	"	"	"	"	-	-	14.98	
生出21	234-2-13	スキ	"	"	"	"	"	-	-	13.08 14.98(2009~)	
生出22	234-2-14	スキ	"	"	"	"	"	-	-	8.76 8.40(2011~)	

生出23	234-2-16	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	11.4	
生出24	234-2-19	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	11.4	
生出25	234-2-20	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22 13.00(2011~)	
生出26	234-2-21	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	6.08 5.04(2011~)	
生出27	234-2-24	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	6.08 5.04(2011~)	
生出28	234-3-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	11.32	
生出29	234-3-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	7.14 6.08(2011~)	
生出30	234-3-25	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	7.22 5.98(2011~)	
生出31	234-3-26	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	5.16	
生出32	234-3-28	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	5.16	
生出33	234-3-29	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	5.16 4.40(2012~)	
生出34	234-3-31	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	-	-	13.22 13.00(2009~)	

Ⅲ. モニタリング詳細－各種係数－(方法論項目5)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	パラメータ		測定方法 (モニタリングパターン)	測定方法の詳細	測定頻度	測定機器 の確認		計画値 [単位]	備考
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森 林施業を実 施したサイト の通し番号) を記入	モニタリング ポイントの番 号に対応す る小班名を記 入(同一小班 名は識別可 能な方法で 記述)	各種係数 に対応す る樹種名 を記入	方法論に 記載され ているパ ラメータ を記入	モニタリ ング対象 となるパ ラメータ の説明	測定方法・データ把握 方法を記入 (モニタリング方法ガイ ドラインにあるパターン から選択)	パラメータを引用する場合は、 詳細資料をⅦ 備考に添付する こと 事業者自ら実測を行う場合は、 具体的な測定方法を記入する こと (記入された測定方法により、 第三者が同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記入のこと)	測定頻度 を記入	モニタリング 方法ガイド ラインを参 照し、測定 機器のキャ リブレーシ ョン・点検 を実施・予 定日	キャリブ レーション ・点検 実施・予 定日	想定吸収 量の算定 に使用し た値を記 入	①特筆すべき事項が あれば記入 ②Trunk: 植栽本数等 の区分によって収穫予 想表が複数存在する 場合、使用する収穫予 想表の選定根拠(Ⅶ 備考にて説明) ②(暫定)地位: その特 定根拠(例: 森林簿)
例	〇〇小班XX	スギ	BEF	拡大係数	実測に基づく方法	小班ごと・植栽樹種ごとに伐倒 試料木を10本選定し・・・(追加 資料はⅦ 備考に添付)	年1回	○	2009/3/3	1.36	
大志田1	3-2-3	スギ*	地位級	平均樹高	対象とする階層におい て、プロット調査により 平均樹高を算出し、地 位級を算定する。	林分材積表に記載の平均樹高 を使用する。	モニタリ ング 時1回	モニタリ ング 実施前に機 器の操作説 明書に従い 点検する。	モニタリ ング 実施前	3	県有林森林簿
大志田2	3-3-12	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田3	3-3-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田4	3-4-5	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田5	3-4-7	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田6	3-4-9	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田7	3-4-13	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田8	3-4-14	スギ*	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃



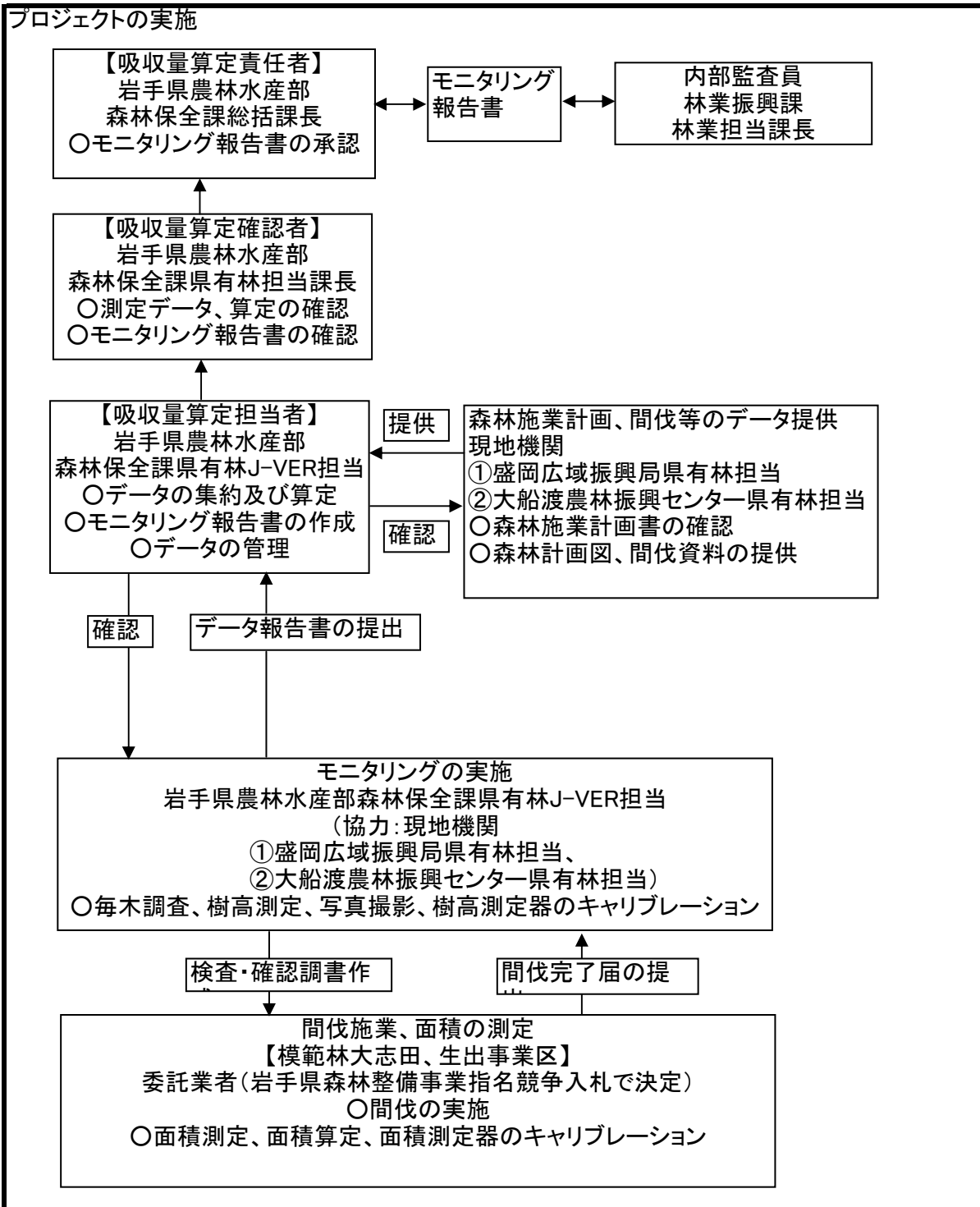
大志田9	3-4-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田10	3-4-21	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田11	3-7-17	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田12	3-8-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田13	3-9-4	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田14	4-2-9	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田15	4-2-10	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田16	4-3-11	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田17	4-3-15	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田18	4-3-36	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
大志田19	5-5-7	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
大志田21	5-11-10	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
大志田22	5-13-1	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
大志田23	5-13-7	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
大志田24	5-13-8	カラマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
大志田25	5-12-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出1	228-8-2	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出2	228-9-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃

生出3	228-9-6	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出4	228-9-10	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出5	228-10-1	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出6	228-10-15	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出7	228-11-21	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出8	228-11-23	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出9	229-1-20	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出10	229-1-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出11	230-2-13	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出12	230-4-19	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出13	231-4-13	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出14	233-1-14	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出15	233-4-24	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出16	234-1-12	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出17	234-1-14	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出18	234-1-16	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出19	234-2-5	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出20	234-2-8	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出21	234-2-13	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出22	234-2-14	スキ <sup>*</sup>	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃

生出23	234-2-16	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出24	234-2-19	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出25	234-2-20	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出26	234-2-21	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出27	234-2-24	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出28	234-3-3	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出29	234-3-22	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出30	234-3-25	ヒノキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃
生出31	234-3-26	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出32	234-3-28	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出33	234-3-29	アカマツ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	4	〃
生出34	234-3-31	スキ	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	3	〃

## IV. モニタリング体制図

モニタリング体制図を以下に記載すること。



## V. 品質保証(QA)及び品質管理(QC)

森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA及びQC)について以下に記載すること。(モニタリングガイドラインT-17～T-18参照)

### 1 森林管理方法

定期的な林況チェックとして、森林施業(間伐)のつど、現地機関※1が実施した森林を検査後、確認調書を作成し現地機関にて保管する。

また、県有林看守員の巡視により、災害等の確認を速やかにできる体制を整え、毎月現地機関に巡視報告書を提出させ現地機関にて保管する。

### 2 施業効率の改善

間伐等の研修会への参加及び主催をすることにより、施業効率の向上を図る。その詳細については、復命書を作成し森林保全課で保管する。

### 3 機器の点検及びモニタリングに使用する機器の品質管理

パーテックスVERTEX IIIトランスポンダーTRANSPONDER T3を使用する場合は、取扱説明書に従い適切に使用する。

使用する都度、設定の確認を行うこととする。

定期的に機器の点検を行い、調査に支障がでないようにする。点検後は、記録簿を作成し森林保全課で保管する。

### 4 品質保証(QA)

モニタリング結果については、内部で監査員を任命し以下の事項の監査を行う。

#### 【監査内容】

①記録の中から任意にデータを抽出し、記録、入力、確認が適切に行われていることを確認する。

②記録の中から任意にデータを抽出し、モニタリング報告書に表示された事項に対し、モニタリング方法ガイドラインに準拠して適性に作成されていることを確認する。

③適切でない箇所があった場合は指摘し、指摘事項を修正させた後、再度確認する。

④監査実施後は監査調書を作成し森林保全課で保管する。

### 5 品質管理(QC)

#### (1) 教育・訓練

吸収量算定担当者(岩手県森林保全課・県有林J-VER担当)、吸収量算定確認者(岩手県森林保全課・県有林担当課長)はモニタリングの目的や手順、測定機器の操作方法について、モニタリング調査実施前に操作確認を行うとともに、モニタリング記載方法を熟知し、調査時における作業の効率化を図る。確認後は記録簿を作成し森林保全課で保管する。

モニタリング実施者(森林保全課県有林担当職員)に対しては、吸収量算定担当者がモニタリング調査前に、調査方法、測定機器の操作方法、記載方法等について熟知させる。実施後は記録簿を作成し森林保全課で保管する。

#### (2) データの管理

現地調査野帳及びその他記録類の管理については、プロジェクト代表事業者(岩手県森林保全課・県有林J-VER担当)が取りまとめて管理する。

また、電子データ(Excel形式)については、森林保全課及び現地機関がそれぞれ指定された個所に保管し、バックアップ体制を確立する。

データの保管期間はH35.3.31までとし、保管記録簿を作成し森林保全課で保管する。

#### (3) データの確認

測定データ・算定結果については、吸収量算定担当者(岩手県森林保全課・県有林J-VER担当)が電子データ(Excel形式)で管理する。

吸収量算定担当者(岩手県森林保全課・県有林J-VER担当)と吸収量算定確認者(岩手県森林保全課・県有林担当課長)は、モニタリング調査実施時に現地調査野帳と算定ファイルを読み合わせなどで突合せ、使用した係数等の妥当性の確認、経年的なデータ変化や林分間の比較等を行い、異常値がないか確認する。確認結果については、記録簿を作成し森林保全課で保管する。

#### (4) 測定機器の維持管理

測定機器については、森林保全課で適正に管理し定期的に点検を行う。点検後は記録簿を作成し保管する。

※1 現地機関 盛岡広域振興局県有林担当及び大船渡農林振興センター県有林担当

VI. 誤差の計算(各種パラメータ入力)

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値(ha)	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値	誤差	値(m <sup>3</sup> /年)	誤差
モニタリングポイントの番号(間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	申請対象となる小班の面積を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている拡大係数の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種のR率を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されているR率の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の容積密度を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている容積密度の誤差のデフォルト値を記入	方法論に記載されている対象樹種の炭素係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている炭素係数の誤差のデフォルト値を記入	各都道府県において使用される収穫予想表から適切なものを選定し記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている収穫予想表の誤差のデフォルト値を記入
例	〇〇小班XX	スギ	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
大志田1	3-2-3	スギ	4.82	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
大志田2	3-3-12	スギ	0.84	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.62	22.2%
大志田3	3-3-13	スギ	0.66	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
大志田4	3-4-5	スギ	1.27	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
大志田5	3-4-7	スギ	1.94	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
大志田6	3-4-9	スギ	0.32	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.62	22.2%
大志田7	3-4-13	スギ	0.70	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
大志田8	3-4-14	スギ	2.27	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
大志田9	3-4-17	スギ	0.77	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.98	22.2%
大志田10	3-4-21	スギ	0.60	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.98	22.2%
大志田11	3-7-17	スギ	4.70	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.98	22.2%
大志田12	3-8-10	スギ	4.88	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.22	22.2%
大志田13	3-9-4	スギ	7.82	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
大志田14	4-2-9	スギ	0.83	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.22	22.2%
大志田15	4-2-10	スギ	2.12	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
大志田16	4-3-11	スギ	1.38	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
大志田17	4-3-15	スギ	0.45	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
大志田18	4-3-36	スギ	3.31	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
大志田19	5-5-7	スギ	1.99	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.04	22.2%
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スギ	1.52	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.14	22.2%
大志田21	5-11-10	カラマツ	3.36	10%	1.15	1.2%	0.29	6.8%	0.404	2.5%	0.5	2.0%	4.44	22.2%
大志田22	5-13-1	カラマツ	7.18	10%	1.15	1.2%	0.29	6.8%	0.404	2.5%	0.5	2.0%	4.44	22.2%
大志田23	5-13-7	カラマツ	1.63	10%	1.15	1.2%	0.29	6.8%	0.404	2.5%	0.5	2.0%	4.44	22.2%
大志田24	5-13-8	カラマツ	1.60	10%	1.15	1.2%	0.29	6.8%	0.404	2.5%	0.5	2.0%	4.44	22.2%

大志田25	5-12-2	スキ	0.87	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.14	22.2%
生出1	228-8-2	スキ	0.99	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.14	22.2%
生出2	228-9-3	スキ	0.48	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.04	22.2%
生出3	228-9-6	スキ	0.83	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.22	22.2%
生出4	228-9-10	スキ	0.61	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.22	22.2%
生出5	228-10-1	スキ	0.35	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.4	22.2%
生出6	228-10-15	スキ	0.50	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
生出7	228-11-21	スキ	1.21	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
生出8	228-11-23	ヒノキ	0.72	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.54	22.2%
生出9	229-1-20	ヒノキ	1.09	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	8.08	22.2%
生出10	229-1-22	ヒノキ	0.96	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9.76	22.2%
生出11	230-2-13	スキ	1.28	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.22	22.2%
生出12	230-4-19	スキ	0.53	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10.14	22.2%
生出13	231-4-13	スキ	1.87	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13.22	22.2%
生出14	233-1-14	スキ	1.81	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.04	22.2%
生出15	233-4-24	アカマツ	5.41	10%	1.23	2.2%	0.26	7.5%	0.451	7.2%	0.5	2.0%	5.16	30.0%
生出16	234-1-12	ヒノキ	0.62	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.58	22.2%
生出17	234-1-14	ヒノキ	1.51	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	10.58	22.2%
生出18	234-1-16	スキ	0.68	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	9.36	22.2%
生出19	234-2-5	スキ	0.56	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.54	22.2%
生出20	234-2-8	スキ	1.05	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.98	22.2%
生出21	234-2-13	スキ	1.65	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	14.98	22.2%
生出22	234-2-14	スキ	0.51	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	8.4	22.2%
生出23	234-2-16	スキ	0.15	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.4	22.2%
生出24	234-2-19	スキ	0.15	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.4	22.2%
生出25	234-2-20	スキ	3.27	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%
生出26	234-2-21	ヒノキ	1.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.04	22.2%
生出27	234-2-24	ヒノキ	0.75	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.04	22.2%
生出28	234-3-3	スキ	3.26	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	11.32	22.2%
生出29	234-3-22	ヒノキ	1.85	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	6.08	22.2%
生出30	234-3-25	ヒノキ	2.34	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5.98	22.2%
生出31	234-3-26	アカマツ	2.55	10%	1.23	2.2%	0.26	7.5%	0.451	7.2%	0.5	2.0%	5.16	30.0%
生出32	234-3-28	アカマツ	0.38	10%	1.23	2.2%	0.26	7.5%	0.451	7.2%	0.5	2.0%	5.16	30.0%
生出33	234-3-29	アカマツ	6.11	10%	1.23	2.2%	0.26	7.5%	0.451	7.2%	0.5	2.0%	4.4	30.0%
生出34	234-3-31	スキ	1.55	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	13	22.2%

VI. 誤差の計算

全体の誤差 = **4.7%**

モニタリングポイントNo	小班名	樹種	CO2吸収量/年			誤差		
			地上部バイオマス値(t-CO2/年)	地下部バイオマス値(t-CO2/年)	合計値(t-CO2/年)	活動量	係数	吸収量全体
モニタリングポイントの番号(間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	VI-1 誤差(入力シート)のパラメータから計算 =a*b*d*e*f*44/12	VI-2 誤差(算定結果)の地上部バイオマスにVI-1 誤差(入力シート)のc(R率)を乗じて計算 =地上部バイオマス * c	地上部バイオマスと地下部バイオマスの合計	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の誤差のデフォルト値を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている係数の誤差のデフォルト値を記入	次式により計算 =SQRT(活動量^2+係数^2)
例	〇〇小班XX	スギ	245.8	61.5	307.3	10.0%	23.1%	25.2%
大志田1	3-2-3	スギ	44.4	11.1	55.5	10.0%	22.9%	25.0%
大志田2	3-3-12	スギ	8.1	2.0	10.1	10.0%	22.9%	25.0%
大志田3	3-3-13	スギ	6.8	1.7	8.5	10.0%	22.9%	25.0%
大志田4	3-4-5	スギ	13.1	3.3	16.3	10.0%	22.9%	25.0%
大志田5	3-4-7	スギ	20.0	5.0	25.0	10.0%	22.9%	25.0%
大志田6	3-4-9	スギ	3.1	0.8	3.9	10.0%	22.9%	25.0%
大志田7	3-4-13	スギ	7.2	1.8	9.0	10.0%	22.9%	25.0%
大志田8	3-4-14	スギ	23.4	5.8	29.2	10.0%	22.9%	25.0%
大志田9	3-4-17	スギ	10.4	2.6	13.0	10.0%	23.1%	25.2%
大志田10	3-4-21	スギ	8.1	2.0	10.2	10.0%	23.1%	25.2%
大志田11	3-7-17	スギ	63.6	15.9	79.5	10.0%	23.1%	25.2%
大志田12	3-8-10	スギ	45.7	11.4	57.1	10.0%	22.9%	25.0%
大志田13	3-9-4	スギ	72.0	18.0	90.0	10.0%	22.9%	25.0%
大志田14	4-2-9	スギ	7.8	1.9	9.7	10.0%	22.9%	25.0%
大志田15	4-2-10	スギ	19.5	4.9	24.4	10.0%	22.9%	25.0%
大志田16	4-3-11	スギ	12.7	3.2	15.9	10.0%	22.9%	25.0%
大志田17	4-3-15	スギ	4.1	1.0	5.2	10.0%	22.9%	25.0%
大志田18	4-3-36	スギ	34.1	8.5	42.6	10.0%	22.9%	25.0%
大志田19	5-5-7	スギ	12.7	3.2	15.9	10.0%	22.9%	25.0%
大志田20	5-11-8-1 5-11-8-2	スギ	10.9	2.7	13.6	10.0%	22.9%	25.0%
大志田21	5-11-10	カラマツ	12.7	3.7	16.4	10.0%	23.5%	25.5%
大志田22	5-13-1	カラマツ	27.2	7.9	35.0	10.0%	23.5%	25.5%
大志田23	5-13-7	カラマツ	6.2	1.8	8.0	10.0%	23.5%	25.5%
大志田24	5-13-8	カラマツ	6.1	1.8	7.8	10.0%	23.5%	25.5%



大志田25	5-12-2	スキ	6.2	1.6	7.8	10.0%	22.9%	25.0%
生出1	228-8-2	スキ	7.1	1.8	8.9	10.0%	22.9%	25.0%
生出2	228-9-3	スキ	3.1	0.8	3.8	10.0%	22.9%	25.0%
生出3	228-9-6	スキ	7.8	1.9	9.7	10.0%	22.9%	25.0%
生出4	228-9-10	スキ	5.7	1.4	7.1	10.0%	22.9%	25.0%
生出5	228-10-1	スキ	2.8	0.7	3.5	10.0%	22.9%	25.0%
生出6	228-10-15	スキ	4.6	1.2	5.8	10.0%	22.9%	25.0%
生出7	228-11-21	スキ	12.5	3.1	15.6	10.0%	22.9%	25.0%
生出8	228-11-23	ヒノキ	5.7	1.5	7.2	10.0%	23.1%	25.2%
生出9	229-1-20	ヒノキ	8.1	2.1	10.3	10.0%	23.1%	25.2%
生出10	229-1-22	ヒノキ	8.7	2.3	10.9	10.0%	23.1%	25.2%
生出11	230-2-13	スキ	12.0	3.0	15.0	10.0%	22.9%	25.0%
生出12	230-4-19	スキ	3.8	1.0	4.8	10.0%	22.9%	25.0%
生出13	231-4-13	スキ	17.5	4.4	21.9	10.0%	22.9%	25.0%
生出14	233-1-14	スキ	11.6	2.9	14.5	10.0%	22.9%	25.0%
生出15	233-4-24	アカマツ	28.4	7.4	35.8	10.0%	31.9%	33.4%
生出16	234-1-12	ヒノキ	6.1	1.6	7.6	10.0%	23.1%	25.2%
生出17	234-1-14	ヒノキ	14.8	3.8	18.6	10.0%	23.1%	25.2%
生出18	234-1-16	スキ	5.8	1.4	7.2	10.0%	23.1%	25.2%
生出19	234-2-5	スキ	5.8	1.4	7.2	10.0%	22.9%	25.0%
生出20	234-2-8	スキ	14.2	3.6	17.8	10.0%	23.1%	25.2%
生出21	234-2-13	スキ	22.3	5.6	27.9	10.0%	23.1%	25.2%
生出22	234-2-14	スキ	3.0	0.8	3.8	10.0%	22.9%	25.0%
生出23	234-2-16	スキ	1.2	0.3	1.5	10.0%	22.9%	25.0%
生出24	234-2-19	スキ	1.2	0.3	1.5	10.0%	22.9%	25.0%
生出25	234-2-20	スキ	30.1	7.5	37.6	10.0%	22.9%	25.0%
生出26	234-2-21	ヒノキ	8.9	2.3	11.2	10.0%	23.1%	25.2%
生出27	234-2-24	ヒノキ	3.5	0.9	4.4	10.0%	23.1%	25.2%
生出28	234-3-3	スキ	33.4	8.3	41.7	10.0%	23.1%	25.2%
生出29	234-3-22	ヒノキ	10.4	2.7	13.1	10.0%	23.1%	25.2%
生出30	234-3-25	ヒノキ	12.9	3.4	16.3	10.0%	23.1%	25.2%
生出31	234-3-26	アカマツ	13.4	3.5	16.9	10.0%	31.9%	33.4%
生出32	234-3-28	アカマツ	2.0	0.5	2.5	10.0%	31.9%	33.4%
生出33	234-3-29	アカマツ	27.3	7.1	34.4	10.0%	31.9%	33.4%
生出34	234-3-31	スキ	14.3	3.6	17.8	10.0%	22.9%	25.0%

参考: 誤差 記入例

モニタリングポイント、小班名、樹種、面積、拡大係数、R率、容積密度、炭素係数、収穫予想表の値を下記のとおり記入し、モニタリング方法ガイドラインより、それぞれの誤差の値をVI-1誤差(入力)シートに入力する。これにより、誤差の値は、VI-2誤差(算定)シートにおいて、自動的に計算される。(下記記入例において、「不確実性」は「誤差」と読み替える)

モニタリング ポイントNo	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値 (ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値 (m3/年)	不確実性
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の森林 施業を実施した サイトの通し番号) を記入	モニタリング ポイント の番号に対応する 小班名を記入 (同一小班名は 識別可能な方法 を記入)	植栽されている 樹種名を記入	申請対象となる 小班の面積を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性 のデフォルト値を 記入	方法論に記載さ れている対象樹種 の拡大係数を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 拡大係数の不確 実性のデフォルト 値を記入	方法論に記載さ れている対象樹種 のR率を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている R率の不確実性 のデフォルト値を 記入	方法論に記載さ れている対象樹種 の容積密度を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 容積密度の不確 実性のデフォルト 値を記入	方法論に記載さ れている対象樹種 の炭素係数を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 炭素係数の不確 実性のデフォルト 値を記入	各都道府県 において使用さ れる収穫予想表 から適切なもの を選定し記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 収穫予想表の不 確実性のデフォ ルト値を記入
1	〇〇小班 XX	スギ	27.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
1	10小班イ	スギ	25.02	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	5	22.2%
2	11小班イ	ヒノキ	29.50	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9	22.2%
2	11小班ロ	ヒノキ	0.90	10%	1.55	3.2%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	9	22.2%
3	13小班イ	スギ	1.20	10%	1.57	3.5%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	10	22.2%
3	13小班ロ-1	スギ	28.00	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6	22.2%
3	15小班ロ-2	スギ	0.20	10%	1.23	1.1%	0.25	4.4%	0.314	2.5%	0.5	2.0%	6	22.2%
4	16小班イ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
5	16小班ロ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
6	16小班ハ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
7	16小班ニ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
8	16小班ホ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%
9	16小班ヘ	ヒノキ	29.90	10%	1.24	1.6%	0.26	5.7%	0.407	1.7%	0.5	2.0%	5	22.2%

## Ⅶ. 備考

モニタリング項目等の説明で、追加説明が必要な場合は、以下に詳細を記述する。  
説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。  
なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

]